



年少組だより NO. 15

令和4年3月9日

りす組担任 細井 京子
ことり組担任 中野 綾乃

昼夜の寒暖の差はありますが、お昼のポカポカな陽気が春を感じさせてくれます。今年度も残りわずかとなりました。この1年を振り返り、一人ひとりが自分のペースで大きく、たくましく成長した姿をうれしく感じているこの頃です。子どもたちは、「うさぎぐみさんになりたいな。」「ぼくは、ぱんだぐみさんがいいな。」と、年中組になることを楽しみにしています。進級への期待を高めながら、残りの日々を大切に過ごしていきたいと思います。



ツボタマンの体操教室



講師の坪田先生を招き、ツボタマンの体操教室がありました。ポールや縄を使った運動遊びを教えてくださいました。縄では高さが変わる縄を、床に張り付いたり、跳んで超えたりして、縄に当たらないようにします。ポールでは決められた枠の中で、バウンドや転がってくるボールに当たらないように逃げます。どちらも当たってしまったら、ビリビリしてしまうというルールです。当たらないように、瞬時に判断して、動いたり、跳んだりして楽しみました。教えて頂いた運動遊びは戸外でも楽しんでいます。

わあああ！
すごいね！

たいへん！
ちいさくなって！

このビリビリボールに
あたらないようにしてね。

おへそちょこちょ



ひな祭り

玄関に飾ってあるひな人形を見て、「なにかある！」「おひなさまだよ！」と、大喜びの子どもたち。「きれいだね。」「くろいのきになるな。」と触りたくなる気持ちを抑えながら、じっと見ていました。2階に上がると、7段飾りがあり、「このひとはだれ？」「なにかあるよ！」と、一階とは違う飾りを見ていました。人形の着物や髪飾りや、手に持っている物などを見せながら、名前を伝えていくと、興味をもって見たり、教師の話を聞いたりしていました。

教師が保育室に戻り、「素敵なおひな様、お部屋にも遊びに来てくれたら良いのになあ。」という、「みんなでつくったら、よいよ！」という話になり、自分のひな人形を作って飾ることにしました。着物を折る、人形のパーツを貼る、顔を描くなど毎日少しずつ作りました。着物は、沢山ある千代紙の中から、自分で気に入った柄を選びました。フルーツポンチやサンタさんなど、様々な製作遊びで糊を使用してきたので、糊の扱いにも慣れ、端まで丁寧に糊を広げたり、少しずつ糊を取り出して使ったりする姿が見られました。顔は、ピグマックスという水性ペンを使って、実際の人形を見たり、写真を見たりして色や形を確認しながら取り組みました。自分の人形ができあがると、どの子どもとも嬉しそうな表情でした。

かどとかどをあわせて
アイロンするよ！

はじっこまで
のりをぬって・・・

おめめを
かいて・・・

小学校の先生と、おだいりさま、
おひなさまごっこをしたよ！

